

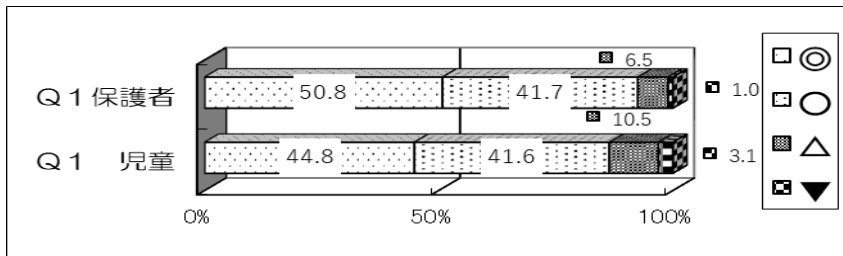
令和5年度 蒲郡南部小学校 学校評価アンケート結果のお知らせ

令和6年2月

令和5年度の学校評価アンケートの結果をお知らせします。この結果をもとに、来年度の教育活動を充実していきます。ご協力ありがとうございました。

【グラフの見方】 ◎ よくあてはまる ○ だいたいあてはまる
△ あまりあてはまらない ▼ まったくあてはまらない

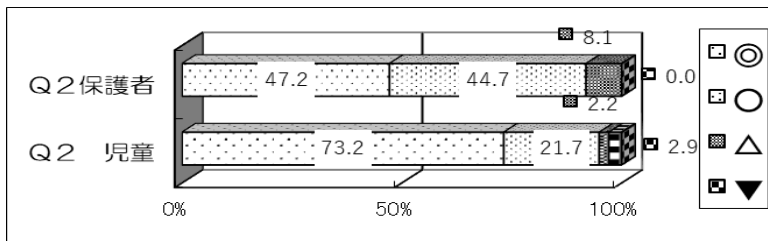
Q 1 (保護者) お子さんは、楽しく学校に通っている
Q 1 (児童) 学校に行くのが楽しい



子どもたちが安心して楽しく学校生活を送れることは、最も大切なことです。◎と○の合計が、保護者92.5%、児童86.4%と、ともに高い数値になっています。5月に新型コロナウイルスが5類に移行され、これまでの活動制限がなくなり、様々な教育活動

に取り組めるようになりました。そのような変化の中で子どもも大人も戸惑いを感じることもあったかと思いますが、多くの子どもたちが学校を楽しんでいることが分かります。今後も、子どもたちが「学校は楽しい」と思えるように、活動を工夫していきたいです。そして、子どもたちの思いに寄り添い、全ての子どもたちが、安心して楽しく生活できる学校をめざして、悩みの相談・対応等きめ細かな指導を心がけていきたいです。

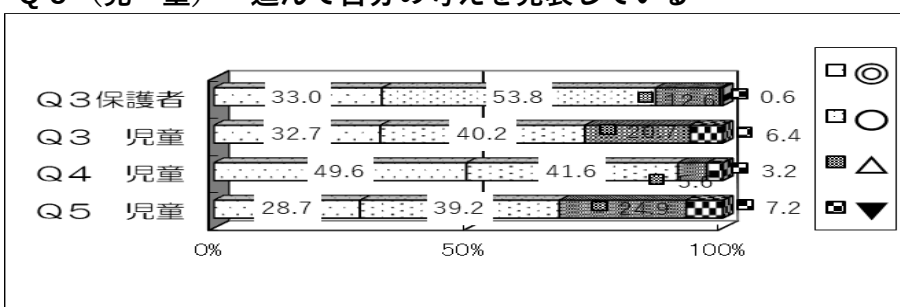
Q 2 (保護者) お子さんは、学校で友達となかよく過ごしている。(お子さんとの会話より)
Q 2 (児童) いろいろなことを話したり、遊んだり、相談したりできる友達がいる



◎と○の合計が、保護者91.9%、児童94.9%という結果となりました。長いコロナ禍が明けて、子ども同士のかかわりは確実に増えてきました。子どもたちは友達との良好な関係を築いていることが分かります。一方で、子どもたちの様子を見てい

ると、友達とどう接したらいいのかわからず感じている子もいるように思われます。子どもたちは、友達と一緒に生活する中でより良い人間関係づくりを学びます。何でも相談できる友達がいることは、大きな心の支えとなります。今後も、友達相互のかかわり合いを大切にした授業や学校・学年行事を通じた取り組み、SST（ソーシャルスキルトレーニング）「蒲じゃんタイム」等を充実させていきたいです。そして、子どもたちが成長していく中で変化する友達関係を見守りながら、互いの良さを認め合えることができる子どもたちを育てていきたいと考えます。

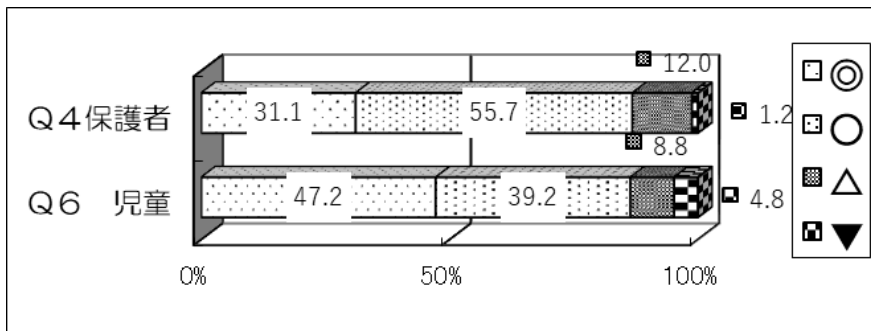
Q 3 (保護者) お子さんは、あいさつがしっかりできている
Q 3 (児童) 自分から元気な声であいさつをしている
Q 4 (児童) 先生や友達の話を集中して聞いている
Q 5 (児童) 進んで自分の考えを発表している



あいさつについては、◎と○の合計が、Q 4 保護者は86.8%、Q 3 児童は72.9%となりました。学級や全校であいさつの大切さについて考えてきました。児童会活動では、児童会執行部

を中心に、希望者によるあいさつ隊を結成し、「あいさつ運動」に取り組みました。多くの子どもたちが笑顔であいさつをする姿を見ることができました。今後も、子どもたちがあいさつの大切さを理解し、進んであいさつできるように全校体制で取り組んでいきたいと思ひます。また、Q4児童の◎と○の合計については、91.2%と9割以上の子どもたちがあてはまると回答しています。今後も「話す相手に目・耳・心を向けよう」と静かになるまで待つことや授業展開に工夫を行うように努めていきます。そして、あいさつ、返事、話を聞くこと等、基本的な生活習慣づくりに向けて、学校・家庭・地域と連携を図りながら取り組んでいきたいと思ひます。Q5児童は、◎と○の合計は、67.9%とQ4児童の「話を聞く」ことに比べては低い数値となっています。話し合い活動の中で互いの考えを認め合う活動を大切にすることで、考えを発表しやすい雰囲気づくりに努めていきたいと思ひます。

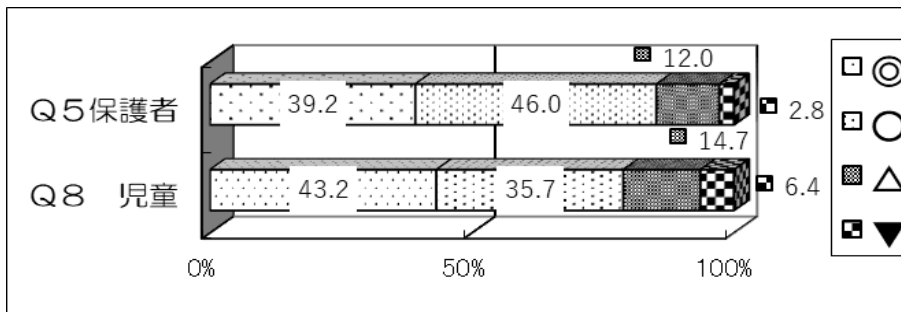
- Q4 (保護者) お子さんは、各教科の基礎・基本的な学力を身につけている
- Q6 (児童) 授業の内容がよくわかり、楽しく学習している



◎と○の合計がQ4保護者は86.8%、Q6児童については86.4%となりました。授業づくりにおいて、子どもたちが意欲をもって楽しく学習し、各教科の基礎・基本的な内容を理解できるよう努めてきました。今後も、基礎基本的な学力が身につくよう、子

どもたちにとってわかりやすい授業になるよう、そして、自ら学ぼうとする力、粘り強く考える力を伸ばせるよう、職員一同努力してまいります。

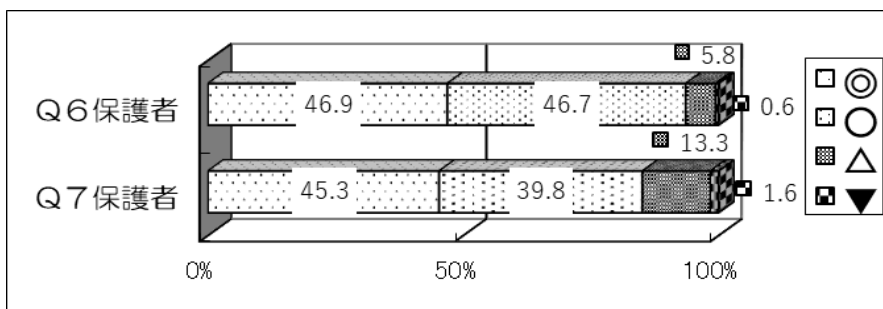
- Q5 (保護者) 先生は、子どもをよく理解し、子どもが相談できる存在となっている
- Q8 (児童) 困ったことがあったら、先生に相談している



◎と○の合計がQ5保護者については85.2%、Q8児童は78.9%でした。子どもたちの様子をよく見ていくとともに、子どもたちの思いに寄り添い、困ったことを相談しやすい雰囲気づくりに努めてまいります。また、定期的に教育相談の時間

を設け、一人一人と話をする時間を大切にしていきます。そして、学校と家庭が連携していくことで、子どもが感じている不安や困りごとをいち早くとらえていけるようにしていきます。

- Q6 (保護者) 先生は、分かりやすくていねいに教えてくれる
- Q7 (保護者) 学級・学年の様子を通信や懇談会等でよく知ることができる

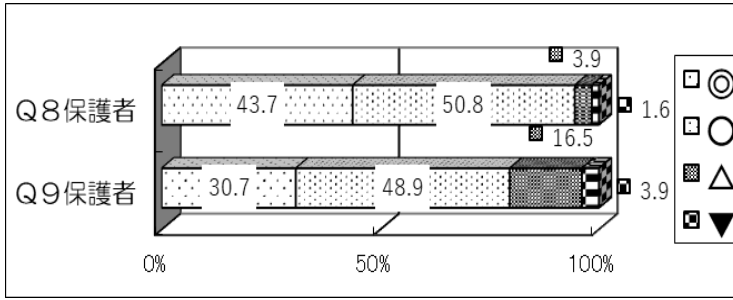


◎と○の合計がQ6保護者は93.6%で9割以上という高い評価をいただきました。今後も分かりやすく丁寧な学習指導の在り方・進め方を、職員全体で話し合い、実践していきます。Q7保護者は、85.1%となりました。今後も学年通信や校長だ

より「つなぐ」等を工夫し、学校生活の様子が保護者の皆様にしっかりと伝わるようにしていきたいと思ひます。

Q 8 (保護者) 学校は、子どもの安心・安全、そして、健康的な生活づくりに努めている

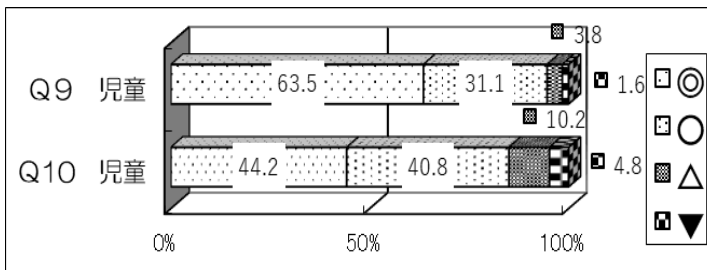
Q 9 (保護者) 学校の設備等は、安全で充実したものになっている



Q 8 保護者の◎と○の合計は 94.5%でした。今年度も、ご家庭のご協力とご理解をいただきながら子どもたちの健康管理、安全管理を進めていくことができました。今後も、子どもたちの安心・安全、そして、健康的な生活づくりに努めていきます。Q 9 保護者の◎と○の合計は 79.6%と他の項目と比べてやや低い数値となっています。老朽化して撤去された遊具の跡地には、昨年度、市の予算で、鉄棒・滑り台・ジャングルジムが設置され、子どもたちが楽しそうに遊ぶ姿が見られます。遊具だけではなく、子どもたちが友達と遊べる用具等も充実させていきたいと考えています。今年度、PTAの記念事業として「モルック」を購入予定です。

Q 9 (児童) 友達にやさしくしようとしている

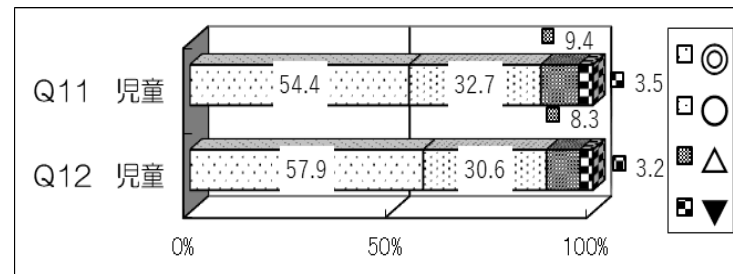
Q10 (児童) 自分にはよいところがある



◎と○の合計がQ 9 児童は 94.6%でした。Q10 児童は◎と○の合計が 85.0%で、8割以上の子が自分のよさに気づいていることが分かります。今後も互いを思いやり、尊重し合う学級経営を大切にすることで、周りの人にやさしくできる子、そして、自他のよさを認め合える子を増やしていきたいと思ひます。

Q11 (児童) 学校からもらったお手紙を忘れずに家族に見せている

Q12 (児童) 掃除や係の仕事を一生涯懸命やっている



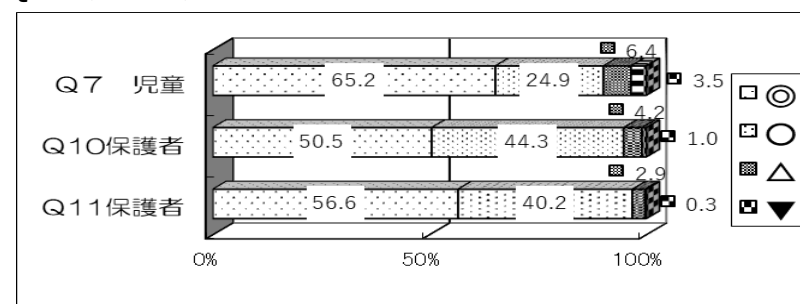
Q11 児童の◎と○の合計が、87.1%でした。全体としては、多くの子どもたちは通信やお知らせを家族によく見せていることが分かります。今後も、学年通信や校長室だより「つなぐ」等を活用して、学校での出来事を家族で語り合う一助としていただけると幸いです。Q12 児童については、◎

と○の合計が、88.5%でした。他の項目に比べて、昨年度 (95.2%) より数値が減少していますが、黙々と掃除する子どもたち、係の仕事に責任をもって行う子どもたちの姿を目にします。このような子どもたちの姿を認め、清掃活動や、係活動、委員会活動等を通して、何事にも、一生懸命取り組める子どもたちを育てていきたいと考えます。

Q 7 (児童) 地域の方との勉強や活動は楽しい

Q10 (保護者) 学校は、地域に開かれた学校づくり (授業の公開、行事への招待、地域行事への参加) に取り組んでいる

Q11 (保護者) 学校と地域で「まちぐるみで子どもたちを育てていく」ことが大切であると思う。



◎と○の合計はQ 7 児童が90.1%、Q10保護者が94.8%、Q11保護者が96.8%と高い数値を示しています。今年度より蒲郡中学校区に学校運営協議会が設置されコミュニティスクールとなりました。地域学校協働活動の

取り組みも3年目となりました。多くの地域の方々がサポーターとして、授業づくり、子どもたちの見守り、環境整備などでご協力くださいました。また、昨年度より実施している「クラブ活動（4～6年生）」でも、地域の方々が「先生」となってくださり、楽しく充実した活動となりました。今後も保護者の皆様、地域とともに、子どもたちの成長を育ていけるよう開かれた学校づくりに取り組んでいきたいと思ひます。

子どもたちの健やかな成長を願ひ、学校と家庭と地域がつながって、いっしょに考えていきたいと思ひます。お気づきのことがありましたら、お気軽にご連絡ください。よろしくお願ひいたします。

<蒲郡南部小学校をよりよくするためのご意見>

※よりよくするためのご意見として要約したものを以下に載せます。

※個人が特定されるようなものは除いてあります

【健康・安全・環境】

- ・今のクラスの状況を考えると落ち着いて行動出来る子はほぼいないため、あんなに机が密集していると災害時に絶対怪我をすと思う。流行病が蔓延する元にもなる。
- ・少し遊具が増えて良かったと思ひますが、まだまだ少ないと感じます。
- ・他にも、いつのまにか学校の遊具が撤去され、以前よりも少なくなっているのは大変残念。敷地にスペースは、まだまだあるはずですし、児童数に対し遊具が少ないのではないでしようか。
- ・早く新しい遊具を設置して欲しい。子どもの遊びでの学び、運動能力を上げる…等のために。

【学習】

- ・教科書が重すぎるので、宿題に関係ないものは学校に置かせてほしい。
- ・部活がないので、せめて、クラブ活動を年間通して行って欲しい。
- ・簡単でないとは思ひますが学級閉鎖などの対応策でリモート授業など自宅学習の環境が整えられるととても助かります。
- ・他校では、宿題をしているところをタブレットの動画に収めてくるなどある。タブレットをもっと活用してほしい。
- ・休んだ時の授業内容のフォローがどの程度してくれているかわからない。
- ・子供の基礎学力に不安を感じることもある。問題は解けて○になっているが、解き方があってない時がある。
- ・同じ学年で、1組と2組で宿題の量に差がありすぎると不公平感や学力差が出てしまいそうで心配です。子どもや担任の先生によってクラスの色の違いは出るので授業の内容等については意見はありませんが、例えば日記が月一回と週一回なのは統一して欲しかったと思ひます。
- ・担任の先生の授業が遅れているし、子供が授業の教え方がわかりにくいと言っている。

【生活】

- ・蒲南は規則や問題点などをその時々の環境や状況に合わせ柔軟に対処して頂いていると思ひます。
- ・どの先生方も子供一人一人しっかり見ていると思ひます。ありがとうございます。
- ・一人一人を丁寧に見てくれている事を感じます。ありがとうございます。
- ・いつも、忙しい中、一生懸命子どもたちと向き合ってくださって、ありがとうございます。
- ・冬の半ズボン廃止してほしい。半ズボンの上に長ズボンは無駄に思ひう。
- ・たまに子どもから他生徒からひどいことをされているような話があるので不安になることがある。
- ・1年生の4月5月あたりは給食サポートを入れた方が食べる時間を確保できて良いと思ひます。
- ・低学年は1学年ずつ補助の先生が欲しい。もしくはクラスの人数を少なくして欲しい。
- ・子供の個性や特性が様々な昨今の状況において、30人程度の児童を1人の担任でまとめるのはむずかしいのではないか。

- ・低学年だけでもひとクラスの人数を最大25人にすべき。
- ・メリハリのある子供への指導（頑張った時には認める、褒める、頑張れる踏ん張れる声掛け、状況により厳格になど）
- ・クラス通信が全然出されないためクラスの様子があまりわからない。
- ・学級通信が、学年や学級により差がありすぎると思います。出さないなら出さない。当初に年にこのくらいのペースで発行します等、アナウンスがあるとうれしいです。学校でどんなことをしているのかわかれば、どんな形態でもよいので、先生たちの負担が増加しない範囲でおこなってほしい。
- ・子供から聞く話しですが、子供の揉め事などに対する叱り方、仲裁の仕方が度を過ぎている気がする
- ・特別な持ち物などの連絡が前日だったりするため、大変困ります。”
- ・先生と生徒が相談出来る時間を取っていただいているが、それとは別に、トラブルがあった際に、子供が担任の先生、話せなければ、気軽になんでも話したり相談出来る先生がいて欲しい。
- ・いつも悪さをしてしまっているという目で話を聞く姿勢が先生にない場合があるように感じる時がある。
- ・理由がない場合もあるだろうが、ある場合もあるので、子供なりの理由をちゃんと受け止めて、聞ける先生が、担任、担任が無理なら、誰でもいいので話せる先生がいて欲しい。話せるような生徒と先生が近づける交流の流れがあるといいと感じています。
- ・教育相談などで出た生徒からの話を親も共有し、そのことについて話し合う機会があるとさらに学校生活が充実したものになるのではないのでしょうか。
- ・子どもから聞く話では、通学で児童同士のトラブルがある。子どもも通学時は元気がないので憂慮しています。
- ・通学団での登下校はトラブルが多いので解体して欲しい。以前は友達同士で登校していたと聞く。
- ・登校、下校時間の変更は子どもを1人で家に残すことになり、低学年だと対応できないこともあると思うので極力やめてほしいです。
- ・学級代表などの決め事のときに 毎年毎年前期と後期が入れ替わるだけのメンバーで新しい子が立候補しても絶対に受からない。前期やった子は ダメでは無く、前年やった子はダメ にしてもらえない 全く代わり映えのない学年。
- ・児童会… 票数順に会長・副会長が決まっていくシステムは辞めた方がいい。あの子より下なんだ と子供達が話している。普通に会長立候補とか決めた方が絶対いい。最後に選ばれ無かった子が可哀想すぎる。

【行事】

- ・部活動がなくなり、また劇の会や音楽会など、授業以外で子供の成長に必要な行事がなくなってしまい残念です。行事の復活を望みます。
- ・持久走プレイデイは完走式とタイムトライアル式の2つで子どもがどちらかを自由に選べるようにして欲しい。それぞれの子どもの目標は選べた方がいい。
- ・コロナ禍でなくなってしまった行事、表現の会、大縄大会、運動会の種目など、今後もこのまま無くなってしまおうのでしょうか？入学した時からコロナ禍で、上の子達に比べると本当に経験できたことが少なく思います。ようやくコロナも5類に引き下げられ、これから経験できるのかと思っていましたが、何故復活しないのか、無くてでもいい行事なのであれば、今までは何の為にやっていたのか。以前と同じように復活させるのが難しいのであれば、それに替わる何かがあってもいいのではないかと思います。
- ・コロナの影響により、学校行事が減ってしまったことが非常に残念です。コロナ前の行事は、子供にとっても親にとっても素晴らしい行事が、蒲南小学校にはたくさんありました！先生方は大変だと思いますが、子供たちは大きな行事を終えるたびに成長しました。勉強では学べない試練を乗り越えて、心も体も大きくなりました。実際うちの子もそうでした。可能な限りで検討し

て頂けると大変ありがたく思います。その為なら協力する保護者もたくさんいると思います！！

- ・学校行事は土日の方が助かります。
 - ・運動会は平日に戻していただきたいです。運動会は平日でお願いしたい。
 - ・運動会などの行事で幹事さんや今泉カメラさんが撮っている写真を販売して欲しい。
 - ・運動会で、場所取り禁止、入れ替わりとお手紙来ても、毎年 毎年椅子だけ置いて場所を取っている方が多いです。先生たちが競技の入れ替わりのときに声をかけてくれないと一生改善しないと思う。
 - ・先生の負担を無くす為に運動会平日、部活廃止 変わっていくのは先生側だけ。割に合わない。
 - ・コロナ前は、表現の会が実施されてましたが、コロナ後は、学習発表会？にかわり、物足りなさを感じます。また、運動会も、せめてPTA競技を1つでも復活させた方が、親の頑張ってる姿に子供も楽しめるのではないのでしょうか？
- コロナ禍で出来なくなった行事がこのまま無くなるのはちょっと違う気がする。
- 特に蒲南祭り、PTAが主体になっていたし、子供達も楽しみにしていたものを無くすと、保護者の方々にもPTAの事をもっと理解してもらおうチャンスを逃してはいないだろうか。
- ・運動会の時などに使われるピストル(電管ピストル?)ですが、音を怖がる子や時代背景を考慮して、電子ピストルや旗や笛などに変えたほうが良いのでは。実際にこういのに移行してる学校は増えています。ピストルに限らず、昔から変わらない古いものは、今いちど、今の子供たち(時代)にあったものなのか見直す機会には必要ではないのでしょうか。”
 - ・表現の会(発表会)を再開させて欲しい。
 - ・運動会を午後もやって欲しい。組体操や騎馬戦や綱引きをやって欲しい。
 - ・今年の6年生の遠足は近場で物足りない感じでした。他の学校と差別がないようにして欲しい。
 - ・授業参観についてですが、塩津小のように、決められた日の中でどの時間に行ってもいい、というような風になるといいなあと思います。
 - ・子どもたちだけで教室がいっぱいだと感じました。授業参観でかろうじて後ろに立てるぐらいで、保護者全員は入れないので全く見えなかったです。音楽室や理科室だと広いので参観しやすいなと思いました。コロナがあけましたが、分散の方が人数が少ないので見やすくよかったです。検討してほしいです。

【地域活動】

- ・地域の人(親や知り合いではない大人)と関わる機会があり、とてもいいことだと思います。大人に対する礼儀やマナーを学ぶ機会になったと思います。自分達から発信してゴミ拾いがあったり、自主的に行動できるようになってきたと感じました。少しでも、部活動や放課後に子供達が少し遊べると体力も交流もできて、いいのではないかと。
- ・サンヨネ訪問やミカンなど、教室だけでなく地域に出て学んでいて楽しそうです。
- ・地域共同活動は、外部の人間が多く学校に出入りすることが心配。
- ・一部の大人だけの満足感のためにやっているのではないかと思う時もある。
- ・もっと子ども達の通学時の安全を守るための見守り活動などに力を入れてもらいたい。
- ・他校にはある地域のボランティアの登下校見守りが蒲南小にも欲しい。
- ・部活がなくなってしまったことが残念です。スポ少ではハードルが高いので、高学年対象に週2回ぐらいで、部活動またはクラブ活動を校内でもらえるのが理想です。先生の負担もあると思いますので、地域の方などの協力を得て可能であれば。
- ・校内の掃除、ボランティアの人を入れて、行き届いていない場所を、一斉に掃除する機会を、年に何度か作るといいです。
- ・クラスが落ち着いていない場合は、授業をお手伝いする、勉強のボランティアを入れるのは、どうでしょうか。

【その他】

- ・PTAへの加入の意思確認をしてほしい。
- ・PTAの役員投票をしましたが、ご家庭の事情や保護者がどんな方が全くわからない状態で投票するのは難しいなと思いました。
- ・役員を指名制にしないでほしい。公平にクジがよい。
- ・欠席時に配布されたお便りが次の日に貰えていないことがあり、ネット等で欠席時でもお便りが確認できると助かります。
- ・おたより類をデジタル化して頂くと助かります。
- ・手紙や資料など電子版にしてもらいたい。
- ・カレンダーや時間割、学習に使用するノートが何文字、何行など基本情報もサイトなどで確認できるとたすかります。
- ・兄弟で同じ手紙を渡すのをやめて欲しい。親の手間もあるし、子どもたちへの教育としても、資源の無駄使いはやめていただきたい。
- ・親子のコミュニケーションが、上手く取れてないことで起こっている問題に対して、他校の成功例などを参考に、もしくはコミュニケーションに関して、様々な経験のある方が、間に入ることで、解決の糸口になればいいなと思いました。
- ・専門家と連携して欲しい。スクールカウンセラー、療育、専門医、特別支援コーディネーター、スクールソーシャルワーカー、など。学校と家庭だけで対処しない。先生方の負担軽減。担任が行う事は、授業を教えるなどに限定し、他の事は、専門家に任せる。そうすることで、先生方が定時に帰宅し、子供への叱責軽減へ。
- ・がまんだけ夏休み宿題が多すぎる。作文、読書感想文、詩。どれか1つでいいはず。
- ・夏休みが長すぎるし、夏休みの宿題が多すぎます。
- ・夏休みのプールがなくなりましたが、先生の負担にならない方法で、プールや自習室、図書館の開放等、子ども同士で自由に過ごせる場所があるといいなと思います。
- ・夏冬休みの宿題、作品募集を自由制にするなど、児童、教員、保護者の負担の軽減について一考してほしい。特に低学年等は、共働きだと、かなりの時間を宿題や作品募集の手伝いに割くことになり、休み方改革にも影響が大だと思う。夏休み日誌や各種ワークも例年使っているからと安易に採択せず、一人一台のデジタル機器を使用するなど、保護者の金銭的負担を減らす取り組みも必要だと思う。それでも作品募集等に取り組むなら、募集する団体に選考や回収等も丸投げさせ、先生方の負担が減るようにし、子どもと向き合う時間の確保につなげてほしい。
- ・『学校へお気軽に相談してください』と言われても、電話対応いただける時間が限られていたり、先生お忙しいかな…とったりして遠慮してしまい、なかなか連絡できないのが現状です。せめて年度の初めだけでもいいので、学校の方から声をかけていただけていたら少しでも安心できたかなと思います。そういったことを踏まえて、webから個別相談を申し込みできると本当に気軽に相談できるのに…と思いました。
- ・1年や4年など、その学年の子供たちに合った性格の先生を担当にしてほしい。子供のケアと共に先生のケアも必要なのでは。
- ・9月に実施された保護者の見守りにより学校の様子がよくわかって良かったです。
- ・2学期に入り、教室へ来て学習の見守りをお願いするという連絡があり、見学しましたが、席に着かない生徒、水筒のお茶を飲んでる生徒、先生の話を見聞かず、クラスの大半の子が自由に喋り出し、結果、先生の説明が理解できずに学習が進まない子が沢山いた為、やむおえず補助しました。手が掛かる生徒が多い中、先生1人では指導しきれないように感じました。またこのような見守りの実施は、何を目的にしたものなのか、説明がなく不安に感じるものでした。もう少しわかりやすく、具体的に教えて頂けるといいなと思います。
- ・学級の荒れが非常に気がかりな一年でした。年間を通じて保護者による見守り活動もあり、実際に足

を運びましたが、具体的に先生かどのようなサポートを必要としているのかが分からず、授業中の学習について子ども達にどの程度声をかけていいのか(演習問題などに取り組んでいる時に直接ヒントを与えたり教えたりしてもいいものか)迷ったので、もう少し見守りについての目的や期待していることを具体的に保護者に伝えてもらえるとうれしいと思いました。

また、学校としてどのような方針で対応を考えているのかなどについて、もう少しコミュニケーションを取ることができたらよかったですと思いました。そのためにも、子どもを通じて出すお便りでは伝えにくいことがあるかもしれないので、保護者と学校が直接コミュニケーションをとれるWEB等のシステムも必要かもしれないと感じました。

【まとめと今後の方針】

蒲郡南部小学校のために多くのご意見をいただきありがとうございました。1年間、蒲南小の子どもたちの「生きる力」を育もうと全職員、力を合わせて努めてまいりました。子どもたちは確実に成長しています。ただ、至らぬ点や気づかぬこともあり、ご心配をおかけしています。学校は一人一人の子どもを鍛える場であるという考えのもと、いただいたご意見を全職員で共有して、今後の教育活動にいかしていきたいと思えます。そのためにも、地域、保護者の方々のご協力が欠かせません。どうぞよろしく願いいたします。

本校の教育目標「自律・尊重・創造」する子の育成に向けて、来年度は以下のように取り組んでいきます。

★ 自分づくり「自律…自分で考え、判断し、行動できる子」

基本的な生活習慣の確立に向けて、各学級、児童会、委員会などで様々な取り組みをしてきました。ご家庭でのご協力もあり、この1年間で子どもたちはできることが増えました。

授業においては、子どもたちの思いや考えを大切に、個別最適な学び(ひとり調べ)を充実させることで、子どもたちが問題解決に向けて主体的に取り組む姿を見ることができました。

今後も、子どもたちが生活面・学習面ともに「自律」していけるように、その子らしさが輝く手立ての工夫や、一人一人に寄り添ったきめ細やかな支援指導に努めていきます。

蒲郡市では、1学級の人数は最大35人となっています。1学級の最大人数を減らすこと、補助員増加について、今後も市教委へ要望していきます。

★ 友だちづくり「尊重…多様な考え方や特性を認められる子」

子どもたちの様子から、友だちとのかかわりがあったからこそできた学びや成長を感じる場面がたくさんありました。来年度も「蒲ジャン」等のソーシャルスキルトレーニング、多様な人とかかわり合う場の意図的な設定などにより、コミュニケーション力の育成に努めていきます。授業においては、協働的な学び(かかわり合い)の中で、友だちと学び合う喜びを感じたり、一つのことを成し遂げる達成感を味わったりすることができるように工夫をしていきます。

★ 地域づくり「創造…協働的に解決し新たな価値を創造できる子」

本校は、本年度よりコミュニティスクールとなり、地域とともにある学校づくりに取り組んでいます。3年目となる地域学校協働活動では、授業、クラブ活動、見守り活動、環境整備などで多くの地域の方々・保護者の方々にサポートしていただきました。地域学習の中で、地域の人・もの・こととかかわり、子どもたちの追究や学びが深まったり、新たな課題解決に向けて動き出したりする姿を見ることができました。来年度も地域学習に取り組み、子どもたちの学び、成長のために、家庭・学校・地域が連携、協力していきたいと考えます。そして、子どもたちの学びの成果を発表する場や方法をさらに考えていきたいと思えます。

登校については来年度から「なかよし登校」となります。地域や保護者の方々による「見守り隊」とともに、子どもたちの安全を見守っていきます。地域の方々を講師とした「クラブ活動」は、少しでも回数を増やせるように検討していきます。また、一方で教職員の業務改善も喫緊の課題でございます。今後も蒲中学区の学校運営協議会と連携しながら少しでも前進させ、子どもの笑顔があふれる学校となるよう努めてまいりますので、どうぞご理解とご協力のほど、よろしくお願い致します。